

能力診断・劣化診断による判定表(1/2)

富士見台小学校(合流)

路線番号	既設管情報				既設管能力判定による診断評価			TV調査会社による診断評価					当社によるTVカメラ診断評価		能力診断・劣化診断による判定		
	管種・管径	延長	勾配	総水量×1.2	流下能力率	判定		本管不良率	たるみ蛇行不良率	浸入水不良率	取付管不良率	判定	判定理由	判定	状態判定	総合判定	協議内容
A 3-3	コンクリート管 400	19.2	11.1	0.198	(既設管) 110.6% (更生管) 134.3%	既設管利用	(V= 1.746 m/s)	12.5%	0.0%	0.0%	75.0%	既設管利用		既設管利用	・ 上流より2本目の取付管接合部に、施工不良により一部欠け落ちた箇所がある。 ・ 取付管不良のほかに損傷はない。	既設管利用	
A 3-4	コンクリート管 400	20.4	10.8	0.198	(既設管) 109.1% (更生管) 132.8%	既設管利用	(V= 1.722 m/s)	12.5%	0.0%	0.0%	20.0%	既設管利用		既設管利用	・ 上流より7本目に取付管の施工不良により、本管に破損が生じている。穴からベニヤ板が露出し補修した痕跡がある。この部分は「布設替」を提案する。 ・ 取付管による不良のほかは、クラックCが1箇所のみである。	既設管利用	
A 4-1	コンクリート管 450	19.1	10.7	0.231	(既設管) 127.7% (更生管) 156.3%	既設管利用	(V= 1.854 m/s)	25.0%	0.0%	0.0%	66.7%	既設管利用		既設管利用		既設管利用	
A 4-2	コンクリート管 450	15.6	18.3	0.231	(既設管) 167.1% (更生管) 204.3%	既設管利用	(V= 2.425 m/s)	33.4%	0.0%	0.0%	50.0%	布設替	本管A・B・Cランク不良率30~50%	既設管利用	・ 取付管の破損Aはあるが、本管に目立つ損傷はない。	既設管利用	
A 5-1	コンクリート管 450	10.6	5.9	0.295	(既設管) 74.2% (更生管) 90.8%	既設管利用	(V= 1.377 m/s)	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	既設管利用		更生(自立)	・ 取付管の接合不良が50%である。 ・ やや腐食し始めているが、特に損傷はない。	更生(自立)	
A 5-2	コンクリート管 450	14.8	8.6	0.313	(既設管) 84.3% (更生管) 103.5%	既設管利用	(V= 1.662 m/s)	50.0%	0.0%	0.0%	62.5%	布設替	取付管不良率 8箇所以上/30m	更生(自立)	・ 不良ランクB・Cのみである。	更生(自立)	
A 5-3	コンクリート管 450	10.7	13.5	0.328	(既設管) 100.9% (更生管) 123.5%	既設管利用	(V= 2.083 m/s)	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	既設管利用		布設替	・ 取付管接合不良があり、土が見えている箇所もある。 ・ 腐食が見え始めている。	布設替	・ 取付管不良率より「布設替」
A 5-4	コンクリート管 450	13.0	5.7	0.346	(既設管) 62.1% (更生管) 76.0%	既設管利用	(V= 1.353 m/s)	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	既設管利用		既設管利用	・ 小さいクラックが1箇所のみである	既設管利用	
A 5-5	コンクリート管 450	9.3	9.5	0.351	(既設管) 79.2% (更生管) 96.9%	既設管利用	(V= 1.747 m/s)	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	既設管利用		既設管利用	・ 腐食が見え始めているが、損傷はない。	既設管利用	
A 5-6	コンクリート管 450	3.7	48.9	0.351	(既設管) 179.5% (更生管) 219.9%	既設管利用	(V= 3.964 m/s)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	既設管利用		既設管利用	・ 特に問題はない。	既設管利用	
A 12-1	コンクリート管 250	5.0	24.0	0.170	(既設管) 54.1% (更生管) 62.9%	布設替	(V= 1.877 m/s)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	既設管利用		既設管利用	・ モルタル付着Cが1箇所のみ。 ・ 腐食が見え始めているが、特に損傷はない。 ・ 下流入孔に棒(異物)が侵入している。	既設管利用	・ 動水勾配NG ・ ただし、下流の布設替により動水勾配が下がるため、既設管利用とする。
A 12-2	陶管 250	19.0	9.6	0.170	(既設管) 34.1% (更生管) 40.0%	布設替	(V= 1.187 m/s)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	既設管利用		既設管利用	・ 取付管接続箇所にモルタル付着Cがある。 ・ 上下流の管口から土砂が見える。 ・ 破損はないが、継目ずれ・段差・隙間などが生じている。下流側でやや滞水が見られる。	布設替	・ 動水勾配NG ・ 陶管のため「布設替」
A 12-3	陶管 250	19.1	8.6	0.170	(既設管) 32.4% (更生管) 37.6%	布設替	(V= 1.123 m/s)	7.2%	0.0%	0.0%	40.0%	更生(自立)	本管A・B・Cランク不良率30%未満	更生(自立)	・ 破損Aは取付管接続部で発生しており、管が潰れかけている。 ・ 継目ずれも発生している。 ・ 取付管閉塞部からモルタルが流入している。	布設替	・ 動水勾配NG ・ 陶管のため「布設替」
A 12-4	陶管 250	19.0	3.7	0.170	(既設管) 21.2% (更生管) 24.7%	布設替	(V= 0.737 m/s)	7.2%	0.0%	0.0%	0.0%	既設管利用		既設管利用	・ 大きな破損はないが、継目ずれ・隙間が見られる。	布設替	・ 動水勾配NG ・ 陶管のため「布設替」
A 12-5	陶管 250	19.1	9.6	0.170	(既設管) 34.1% (更生管) 40.0%	布設替	(V= 1.187 m/s)	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	既設管利用		既設管利用	・ 軽微な不良のみである。 ・ 継目の段差が見られる。	布設替	・ 動水勾配NG ・ 陶管のため「布設替」

能力診断・劣化診断による判定表(2/2)

路線番号	既設管情報				既設管能力判定による診断評価		TV調査会社による診断評価					当社によるTVカメラ診断評価		能力診断・劣化診断による判定		
	管種・管径	延長	勾配	総水量×1.2	流下能力率	判定	本管不良率	たるみ蛇行不良率	浸入水不良率	取付管不良率	判定	判定理由	判定	状態判定	総合判定	協議内容
A 12-6	コンクリート管 250	3.8	9.2	0.170	(既設管) 33.5% (更生管) 38.8%	布設替					更生(自立)	本管Cランク不良率50%以上	既設管利用	・下流管口の円周方向1/3程度のクラック有。 管口補修で対応可能。	既設管利用	・動水勾配NG ・ただし、下流の布設替により動水勾配が下がるため、既設管利用とする。
A 13-1	コンクリート管 450	31.4	58.1	0.497	(既設管) 138.2% (更生管) 169.2%	既設管利用					既設管利用		既設管利用	・取付管による施工不良のほか、特に本管に問題はない。 ・上流から3本目に腐食による表面剥離がある。	既設管利用	
A 14-1	コンクリート管 450	26.9	37.0	0.589	(既設管) 93.0% (更生管) 113.9%	既設管利用					既設管利用		既設管利用	・軽微な取付管突出し不良のみである。 ・上流より11本目の取付管から異物が侵入し、モルタル状の堆積物となっている。 ・特に破損はない。	既設管利用	
A 15-1	コンクリート管 450	35.3	78.5	0.720	(既設管) 111.0% (更生管) 135.8%	既設管利用					既設管利用		既設管利用	・クラックCが1箇所のみで、大きな破損はない。 ・上流管口補修(接合不良)が必要である。	既設管利用	
A 16-1	コンクリート管 450	30.1	52.4	0.828	(既設管) 78.9% (更生管) 96.5%	布設替					既設管利用		既設管利用	・上流より15本目は管全体にクラック。 ・上流より26本目は管半分にクラック。	既設管利用	・動水勾配NG ・ただし、下流の布設替により動水勾配が下がるため、既設管利用とする。
A 17-1	コンクリート管 500	11.2	2.0	0.828	(既設管) 20.4% (更生管) 25.1%	布設替					既設管利用		既設管利用	・下流から2本目の右側壁に軸方向のクラックが管全体に見える。 ・下流から10本目の管頂部に軸方向のクラックが管全体に見える。	布設替	・動水勾配NG
A 18-1	コンクリート管 600	5.7	43.5	0.828	(既設管) 154.7% (更生管) 192.1%	既設管利用					布設替	本管Aランク不良率30%以上	更生(自立)	・取付管接続部での劣化が進んでいる。 ・上流より2本目に接続する取付管は、近接しているため、挟まれた本管が損傷している。	更生(自立)	・不良ランクB・Cのみであるため「更生」を提案する。
A 19-1	コンクリート管 700	6.8	13.5	0.873	(既設管) 123.3% (更生管) 154.1%	既設管利用					既設管利用		既設管利用	・やや腐食し始めているが、特に損傷はない。	既設管利用	
A 23-1	コンクリート管 450	6.9	55.2	0.314	(既設管) 213.4% (更生管) 261.1%	既設管利用					布設替	取付管不良率 8箇所以上/30m	布設替	・取付管による破損のみである。 ・取付管の施工不良が多い。	布設替	・取付管接合部で、一部欠け落ちている破損が多く「布設替」を提案する。